



# ANDIKA DIAPARI さん

アンディカ ディアパリ

インドネシア出身。5年前に日本語を学ぶため日本へ。その後大学院で「多文化共生」と「まちづくり」を勉強し、現在は生野区まちづくりセンターのスタッフとして「人のつながり」を大切に活動中。彼は今「サラダボウル・プロジェクト」という交流の場を作っている。農園で地域の人と野菜を育て、それを様々な国の料理法で食べ、語り合うことを通して、それぞれの国や地域の人への理解を深めている。

## 「人とのつながり」に興味を持ったきっかけは？

日本へ留学する前から「武士道」に興味があり、来日後「剣道」が習いたくて、日本語学校の先生の紹介で区内の剣道教室に参加しました。その教室はもちろん日本人ばかり。でも、突然来た外国人の自分も普通に迎え入れてくれました。この経験が今の活動の原動力。

言葉や文化を越えて、様々な国の人たちと知り合いたい、つながりたい。

## 文化の違いは大変ではない？

文化の違いっておもしろいんです。

例えば茄子。同じ茄子なのに、インドネシアと日本ではまったく違う料理に使います。でもどちらの料理もおいしい。知っているだけで、2つの国の料理が楽しめます。人がつながるからこそ文化の違いを知れるし、またつながりたくなります。それが楽しい。

(ボナ タルダ)  
**Bona tarda!**  
こんにちは!



## FERNANDO SELVAGGIO LOPEZ                      さん

フェルナンド・セルバジオ・ロペス

カタルーニャ出身(スペイン)。画家。  
昨年6月国際結婚のため、故郷のバルセロナから生野へ。昨年10月からはリノベーションした長屋に移り住み、アトリエで作品を描く傍ら、カタルーニャ料理を友達と囲むなど、ご夫婦で生野暮らしを楽しんでいる。

### 絵はいつから？

こどもの頃から大好きで、絵ばかり描いていました。アートアカデミーや大学で学んだあと、一度はシステムエンジニアとして勤めましたが「自分が本当にしたいことは何か」を考えて「やっぱり絵を描きたい」と思い、2006年から絵を描くことを中心に活動しています。

### 生野のまちの印象は？

生野のまちが大好きです。なんだか懐かしくて。生まれ育ったバルセロナでは、こどもの頃、ご近所さんが気軽に声をかけあっていました。通りのお店では、買い物かてら会話を楽しんだり。夕方には家の軒先でゆっくりして、行き交う人と声をかけあったり。そんな40年前のバルセロナのまちに、生野のまちは似ていると思います。懐かしさを感じる町並みと、ちょうどいい距離感のまちの人たちが、僕にとっては居心地がよく、とても住みやすいんです。今のバルセロナのまちは、梅田みたいに大都会。都会は便利でいいけれど、僕は当時の故郷を思い出す生野のまちと人が大好きです。

(ニーハオ)  
你好!  
こんにちは!



## 葉昇希さん

ヨウ ショウキ

中国出身。学生。大学で看護師資格を取得。卒業後1年ほど日本語を勉強。日本での看護師資格を取るために生野のまちに来て2年目。今は看護と日本語の専門学校に通いながら、病院で介護のアルバイトをする毎日。多忙な中、休日は生涯学習ルームで社交ダンスを習っている。

### 社交ダンスは楽しい？

踊るのが好きなんです。日本に来て初めて社交ダンスをはじめたんです。ひとつひとつのステップは難しいけど、頑張って練習すればするほど気持ちよく踊れる。特にチャチャチャが好き。

学校に通って、アルバイトもして、ダンスを覚えるのも大変だけど、教室でみんなと頑張って踊る時間が楽しいです!

### 生野のまちはどう？

生野のまちで出会った人たちは本当にやさしい。生野区は学校に近かったので住むことになったんです。知り合いも友達もない2年前、毎朝、近所の公園で本を読んでいた。そんな私に声をかけてくれたのが、公園を掃除していたおばちゃん。うれしかった。おばちゃんとの会話が本当に楽しかった。グランドゴルフにも誘ってもらって、試合にまで参加しちゃいました。社交ダンス教室のみんなも、公園のグランドゴルフのみんなも、何もわからなかった自分にとっても親切にしてくれた。公園でひとり本を読んでいた2年前とは別世界。今はやさしくて楽しいみんなに支えられながら、前に向かっていきます。



# 糸川 STELLA さん

イトカワ ステラ

(生野出身の勝博さん、長男、長女の4人家族)  
シンガポール出身。シンガポールで赴任中の勝博さん  
と出会い結婚。そして7年前に2歳の長男を連れて  
生野区へ。家では英語と関西弁が飛び交う生活。

## 生野に来た当時は？

学生の頃からSMAPやKinKi KidsなどJ-POPが好きでよく聴いていました。そんな日本に来るなんて。だけど実際、生活感あふれる生野での暮らしは戸惑いでいっぱいだった。友達もいなくて寂しかったです。長男の幼稚園の送り迎えやイベントに参加してるうちに、お母さん達とも知り合いに。今では大切な友達。日本語の会話が楽しめるのも長男のおかげかも。こどもって吸収がすごく早い！

## 生野ってどんなところ？

すごく多国籍。シンガポールもいろんな国の人が集まっているんだけど、そこが似てると思う。いろんな国の言葉がしゃべれるお母さん達がいったり、いろんな国の食材も簡単に手に入ったり。生野っておもしろい。あと、生野でできた友達は、みんな本音でどんどん言ってくれる。私も素直に思ったことが言える。そんな本音を言い合える生野での暮らしは、居心地が良いんです。



(マガンダン アラウ)  
**Magandang araw!**  
こんにちは!

# OLIVE R KAWAIDA さん

オリーブ・ラモス・カワイダ

フィリピン出身。  
大学で商学を学び、その後日本へ。  
生野には13年前に。

## 故郷はどんなまち？

故郷はフィリピン北部の港まちなんです。漁師のまち。そしてバナナ畑とマンゴー畑が広がっていて、のどかなまち。そこで母が食堂を営んでいました。たくさんの漁師が来て、毎日にぎわってました。兄弟姉妹は全部で14人、みんな母の料理が大好きでした。私もふくめて兄弟姉妹の全員に、聖書にちなんだ名前を父と母が付けてくれました。

## 生野に暮らしてみてもうですか？

いろんな人に出会えるのが楽しい。最近本当にいろんな国の人がありますよね。週末教会に通っているけど、そこでもたくさんの外国の人がありますよ。もちろん日本の人も。私、中学の頃から弦楽器のバンドリンを習っていて、いまでも弾くんです。教会で知り合ったいろんな国の人とあちこちで演奏会をしたりして、音楽を楽しんでいます。今では、知り合いから知り合いへと、人のつながりがどんどん広がっていくのが嬉しくて。そんな生野での暮らしを毎日楽しんでいます。

(アーユボーワン)  
ආයුබෝවන්!  
こんにちは!



HERATH  
PATHIRANNEHELAGE  
RUWINI DILUKSHI  
HERATH さん

ヘラット パティラシネヘラーゲ・  
ルウィニ デイルクシ ヘラット

スリランカ出身。1年前に来日し、日本語学校に通う。  
日本の大学に進学するため目下受験勉強中。

## 故郷はどんなところ？

海沿いの小さな漁村。田んぼがいっぱいあってお米もお魚もおいしいんです。みんなカレーが大好きで、朝昼ガッツリ夜軽めで3食カレーを食べます。わたしはイカのカレーが大好き。スリランカのカレーは辛いけど、ココナッツミルクが入っていて少しマイルドで食べやすいんですよ。日本のカレーもおいしいけど、ちょっと甘く感じます。あとスリランカでは、カレーは手で食べます。丸い大きなお皿の真ん中に、ご飯を入れて、3種類くらいのカレーを周りにかけて、ごはんとかレーを少しずつ混ぜて食べるんです。手で食べるとよく味が混ざっておいしいんですよ。

## 生野のまちはどうですか？

小学校の時の先生が「日本はきれいなところだよ」と教えてくれたことがきっかけで日本に興味を持って。その頃から日本に来たくてやっと来れました。スリランカは一年中25度から30度くらいの気温で、ずっと花が咲いてる暖かい所なんです。日本には四季があって、去年はじめての秋に、近所のお寺で初めて紅葉を見た時、感動しました。本当にきれいで。秋の紅葉、冬の雪、そんな風にスリランカとの違いを見つけては楽しんでます。